

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

ぜんこの アッラー は、じんるいに ふたつの せいを さずけました。ひとつめは、わたしたちが いま きている しれんの ばでの せい です。しを むかえると このよでの せい は おわり、らいせの せい が はじまります。しは けつして そんざいの おわりを いみする ものではありません。むしろ、それは えいえんの せいのはじまりです。

しんあい なる ムスリム の みなさま！

ときがくれば、わたしたちの いくる このよの じんせい が おわり、えいえんの らいせ が はじまります。ひとはしから よみがえり、ふかつの ばしょにあつまり、かみのおおになる いしによって しんぱんのはかりがおかれます。そのひは、せいさんのひです。

そのひ、かくされたものか あきらかなものか、ぜんかあくかを とわず、すべてのいとごういが あらわになり、すべてのひが つぎのこばを きくことになるでしょう。「**あなたの きろくを よみなさい。このひ、あなたの せいさんは あなたじんで じゅうぶんである**」。¹ そのひ、わたしたちはくちをきけず、かわりにてあしが はなすでしょう。わたしたちの しゅ (スバーナワ タアーラー) が、このしんじつをつぎのように つげておられます。「**このひ、われらはかれらのくちをふうじる。かれらのてがわれらにものをいい、かれらのあしが、 じぶんたちの えてきたことを しょうげんする**」。² このひ、ふとうにあつかわれるものはだれもおらず、ただ じぶんのおこないにたいするむくいだけをえます。いきているあいだになにをしたか、わかさや、みにつけてきたものごと、どのようにざいさんを えてなにについやしたのか、しりえたちしきでなにをしたかなどを たずねられるまで、みうごきするものはだれもいないでしょう。³

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

アッラーと しんぱんのひを しんじる しんこうしゃに ふさわしいのは、せいさんを むかえるまえに みずからの せいさんについて かんがえることです。しんこうしゃは、このよをあそびや たのしみの ばしょとしてではなく、わたしたちの しゅ (スバーナワ タアーラー) の およろこびを えるための ばしょとしてみるべきです。かんぜんに まっすぐな イスラームのみち、クルアーンのみちびき、そしてわたしたちの よげんしゃ (かれのうえにしゆくふくと へいあん あれ) の スンナから けつして それでは なりません。

ほんじつの きんようれいはいの ホトバを、つぎの しょうくをもつて おわります。

「ひとびとよ。あなたがたは しゅをおそれなさい。そして おやがこに むくいることも、こがおやに むくいることも できない そのひをおそれなさい。ほんとうに アッラーの やくそくは しんりである。それゆえ げんせの せいにあざむかれては ならない。アッラーについて あざむくものに、あざむかれては ならない」。⁴

¹ Isra, 17/14.

² Ya-Sin, 36/65.

³ Tirmidhi, Sifat al-Qiyamah, 1.

⁴ Luqman, 31/33.